

=====

著作者・著作権者、出版社各位

【注意】フィッシングサイトのお問い合わせが多くなっております（通報先あり）

=====

最近、当協会へのお問い合わせで「著者が PDF を無料でダウンロードできるサイトを見つけた」「編集者が無料でダウンロードできるサイトを発見した」等の問い合わせが増えております。

調べてみると、そのほとんどがフィッシングサイト（詐欺サイト）です。

そのようなサイトを見つけた、あるいは、みつけたという情報を得た場合は、まずは「無用アクセスしない」「絶対に個人情報を入力しない」ことが大切です。

出版広報センターの担当者により、フィッシングと思われるサイトに登録して、ダウンロードを試みたことがありましたが、案の定、PDF 等のダウンロードはできず、クレジットカードからお金を引き落されそうになりました。

質の悪いことに、こうしたフィッシングサイトを作成するのはとても簡単です。オンライン書店等から書影、書誌情報を自動でコピーし無料でドメイン（URL）を取得できる国で、とってしまえば、無料で無数につくることができます。

もし、「無料で PDF がダウンロードできる」等のフィッシングサイトらしきサイトを見つけたら、下記、通報サイト、団体がいくつかありますので、URL 等を提供してみてください。

▼▼Google 「フィッシング詐欺の報告」▼▼

https://safebrowsing.google.com/safebrowsing/report_phish/?hl=JA

簡易なサイトですが、登録されると主要ブラウザにて登録されたサイトにアクセス時に警告が出るそうです。

▼▼Microsoft Report unsafe site▼▼

<https://www.microsoft.com/en-us/wdsi/support/report-unsafe-site-guest>

こちらは英語ですが、いくつか入力項目を入れるだけなので、簡単です。Windows Defender にて警告が出るようになるそうです。

▼▼フィッシング対策協議会▼▼

<https://www.antiphishing.jp/registration.html>

協議会が確認した時点でサイトが稼働中であれば、閉鎖のための調査を JPCERT/CC（JPCERT コーディネーションセンター）に依頼してくれるそうです。

▼▼セーファーインターネット協会▼▼

https://www.saferinternet.or.jp/akushitsu_ec_form/

一般財団法人日本サイバー犯罪対策センターへ情報提供し、フィルタリング事業者、セキュリティ事業者へ同情報が共有されるそうです。

▼▼警視庁サイバー犯罪対策プロジェクト▼▼

<https://www.npa.go.jp/cyber/policy/phishing/phishing110.htm>

各都道府県警でも窓口等をもっています。

また、仮に情報入力等を必要とせず、アクセスできるサイトをみつけた場合は、海賊版サイトです。

その場合は、一般社団法人 ABJ、出版広報センターと当協会が連携して収集している下記サイトにご登録ください。

▼▼海賊版サイト登録窓口▼▼

<https://forms.gle/mmZwjfRM3nysbint6>

ご提供頂きました海賊版サイトの情報は下記 PDF 資料にあります通り、各所に共有され、検索表示抑制や広告表示抑制等の対策をいたします。

<https://www.jbpa.or.jp/pdf/members/20190524kaizokuban2.pdf>

しかし、フィッシングサイトの対策として一番大事なのは「アクセスしない」「情報を入力しない」ことです。

また、サービス自体は適法である写真・画像共有サイトに、個人の投稿により書籍の表紙画像が表示されている事例がありますが、本文が掲載されたり読めるようになりたりしていることは、ほとんどありません。

表紙が著作物である場合は、サイトが用意している「著作権侵害の申し立てフォーム」に情報を入力して送信すれば削除することが可能です（本文が掲載されていることを見つけた場合も同様です）。

何卒、ご理解のほどお願い申し上げます。

以上

2021年5月

一般社団法人 日本書籍出版協会